

# 用語集

#	用語	読み仮名	同義語	用語区分	定義	定義の補足情報
1	ToBe	トゥービー		一般	最適化計画の刷新の方針(②システム構造の見直し)に従い、【個別システム】を全て刷新した最終時点のこと。	
2	次期	ジキ		一般	最適化計画の刷新の方針(②システム構造の見直し)に従い、【個別システム】を段階的に刷新した各段階毎の時点のこと。	
3	既存	キゾン		一般	最適化計画の刷新の方針(②システム構造の見直し)に従い、【個別システム】を段階的に刷新する前の、現状のこと。	
4	ネットワーク構成図	ネットワークコウセイズ		一般	業務・システム最適化指針、第5別添を参照のこと。既存システムにおけるネットワーク構成図及び【ハードウェア構成図】に該当するものとして、既存システム構造分析の【全体システム構成図(物理構成)】及び【個別システム構成図(物理構成)】を参照のこと。	
5	ハードウェア構成図	ハードウェアコウセイズ		一般	業務・システム最適化指針、第5別添を参照のこと。既存システムにおける【ネットワーク構成図】及び【ハードウェア構成図】に該当するものとして、既存システム構造分析の【全体システム構成図(物理構成)】及び【個別システム構成図(物理構成)】を参照のこと。	
6	BPMS	ビーピーエムエス		製品	IPAのTRMで「ビジネス・プロセス管理」として定義されているものであって、ビジネスプロセスの実行を支援する製品のこと。	
7	・BPMNエンジン	・ビーピーエムエヌエンジン		製品	【BPMS】の中で、BPMN2.0で記載したビジネスプロセスを駆動・実行することが可能な製品のこと。	
8	ESB	イーエスピー		製品	Enterprise Service Busのこと。	
9	BRMS	ビーアールエムエス		製品	ビジネスルール管理システム又はビジネスルール管理用のプログラムプロダクトのこと。	
10	ETL	イーティーエル		製品	情報活用系システムで一般的に利用されるプログラムプロダクトの総称とする。	
11	SOA	エスオーイー		SOA	ITシステムを構築する上での考え方、構造のことであって、システム全体の中で特定された【サービス】を様々なシステムが利用できるようにシステム全体の構造を階層化の観点等で整理する考え方、構造のこと。	
12	サービスインタフェース	サービスインタフェース	サービスオペレーション標準インタフェース(旧名であり、原則利用しない)	SOA	特定のサービス(ここでは、仕事や業務として意味のある単位のことを意味する)を提供するインタフェースのこと。	条件として以下のインタフェースを提供しなくてはならない。 ・共通的に利用されることを想定し、インタフェース仕様を管理している ・予め定められた統一的方法によって利用側からアクセスすることができる ・業界標準的なプロトコルを用い、ネットワーク経由でアクセスできる ・実装プラットフォームや実装言語の影響を受けずにアクセスできる
13	サービス	サービス	サービスプロバイダ	SOA	【サービスインタフェース】を束ねたものこと。	【サービス】は1つ以上の【サービスインタフェース】を提供するものとする。
14	サービス化	サービスカ		SOA	【システム構成要素】において【サービスインタフェース】を設け、【サービス】とすること。	
15	サービスコンシューマ	サービスコンシューマ		SOA	特定のサービスを使用する側のこと。	
16	ToBeアーキテクチャ	トゥービーアーキテクチャ		アーキテクチャ	最適化計画の基本コンセプトに従ったアーキテクチャ全般のこと。	【ToBeモデル】で利用する要素技術(アーキテクチャ)のこと。

# 用語集

#	用語	読み仮名	同義語	用語区分	定義	定義の補足情報
17	ToBeモデル	トービーモデル		アーキテクチャ	最適化計画の基本コンセプトに従い、段階的刷新を全て完了した後のシステム、システムの内部構造等のあり方を示すものこと。	【ToBe対象システム】を全て刷新した時点のモデルのこと。
18	次期モデル	ジキモデル		アーキテクチャ	最適化計画の基本コンセプトに従い、段階的刷新を順次行う際の途中時点のシステム、システムの内部構造等のあり方を示すものこと。	【ToBe対象システム】を段階的に刷新するときの各時点のモデルのこと。
19	最適化計画終了時モデル	サイテキカケイカクシュウリョウジモデル	2022モデル	アーキテクチャ	最適化計画終了時点(2022年度終了時点)の【次期モデル】のこと。	
20	全体システム構成図	ゼンタイシステムコウセイズ		アーキテクチャ	【特許庁システム】全体のシステムの構成図であって、【全体システム構成図(多階層構成)】、【全体システム構成図(論理構成)】、【全体システム構成図(物理構成)】からなる構成図のこと。	
21	・全体システム構成図(多階層構成)	・ゼンタイシステムコウセイズ(タカイソウコウゾウ)	多階層構成図	アーキテクチャ	最適化計画で定めるシステム構造の定型化の基本コンセプトに従った多階層構成アーキテクチャに基づく図のこと。	【サブシステム】における以下の内容を表す概念的な構成図のこと。 - 役割の単位で区分することによる【層】構成 - 処理方式や業務特性を考慮したときに、その層内で必要とする【システム構成要素】 - システム構造定型化を考慮しつつ、その【システム構成要素】間のアクセスの依存関係
22	・全体システム構成図(論理構成)	・ゼンタイシステムコウセイズ(ロンリコウセイ)		アーキテクチャ	【サブシステム】における業務的な役割、機能的な位置づけを示す【ToBeシステム構成図】と、その【サブシステム】の内部構造のパターンとして【論理ノード】の形態や単位を示す【ソフトウェア構成図】からなる構成図のこと。	
23	・ToBeシステム構成図	・トウビーシステムコウセイズ	ToBeサブシステム構成図	アーキテクチャ	データ分析・【データ統合】方針における【サブシステム】の定義を元に、【サブシステム】を業務的な役割、機能的な位置づけで示す構成図のこと。	
24	・ソフトウェア構成図	・ソフトウェアコウセイズ		アーキテクチャ	【サブシステム】内におけるプログラムプロダクトやアプリケーションの関係を考慮した構成図のこと。	【サブシステム】のタイプや【論理ノード】との関連性を示すものとする。
25	・全体システム構成図(物理構成)	・ゼンタイシステムコウセイズ(ブツリコウセイ)		アーキテクチャ	【サブシステム】のネットワークの接続、ハードウェアの配置等の物理的な構成を示す【ネットワーク構成図】及び【ハードウェア構成図】を合わせた構成図のこと。	
26	個別システム構成図	コベツシステムコウセイズ		アーキテクチャ	【個別システム】全体のシステムの構成図のことであって、【個別システム構成図(多階層構成)】、【個別システム構成図(論理構成)】、【個別システム構成図(物理構成)】からなる構成図のこと。	
27	・個別システム構成図(多階層構成)	・コベツシステムコウセイズ(タカイソウコウゾウ)		アーキテクチャ	【全体システム構成図(多階層構成)】において【個別システム】での対象を示すものこと。	【個別システム構成図(多階層構成)】で必要な内容については【全体システム構成図(多階層構成)】へフィードバックするため、基本的には常に同期を取った内容となる。
28	・個別システム構成図(論理構成)	・コベツシステムコウセイズ(ロンリコウセイ)		アーキテクチャ	【全体システム構成図(論理構成)】において【個別システム】での対象を示すものこと。	特にインタフェース部分に着目したデータの流れ図のこと。
29	・個別システム構成図(物理構成)	・コベツシステムコウセイズ(ブツリコウセイ)		アーキテクチャ	【全体システム構成図(物理構成)】において【個別システム】での対象を示すものこと。	
30	層	ソウ		アーキテクチャ	【全体システム構成図(多階層構成)】における、役割の単位で構成を分割した区分のこと。	
31	・階層	・カイソウ		アーキテクチャ	【層】のうち、階層構造となっている層のこと。	【業務層】、【基盤機能層】、【共有DB層】のこと。
32	・業務層	・ギョウムソウ		アーキテクチャ	業務処理を実行するための機能を配置する【階層】のこと。	
33	・基盤機能層	・キバンキノウソウ		アーキテクチャ	【共有DB層】へのアクセスのための機能を配置する【階層】のこと。	

# 用語集

#	用語	読み仮名	同義語	用語区分	定義	定義の補足情報
34	・共有DB層	・キョウユウデーバース		アーキテクチャ	【特許庁システム】全体で共有するべきデータを管理する機能を配置する【階層】のこと。	
35	・外部システム連携層	・ガイブシステムレンケイ	サービス間通信機能層(旧名であり, 原則利用しない)	アーキテクチャ	【内部システム】と【外部システム】との間において生じるインターフェースのギャップを吸収することを目的とする【層】のこと。	
36	システム構成要素	システムコウセイヨウ		アーキテクチャ	【全体システム構成図(多階層構造)】における, システム特性や処理方式パターン等により導出される, システムを構成する要素のこと。	例えば, 【ビジネスフロー管理】, 【業務アプリケーション(サービス)】, 【個別データベース】, 【DBアクセス基盤サービス】, 【共有データベース】のこと。
37	・ビジネスフロー管理	・ビジネスフローカンリ		アーキテクチャ	【ビジネスプロセス】の管理, 【ビジネスプロセスインスタンス】の管理を担う【システム構成要素】のこと。	
38	・業務アプリケーション(画面)	・ギョウムアプリケーション(ガメン)		アーキテクチャ	業務処理の実行のうち, 画面を備える処理の実行に関する責務を担う【システム構成要素】のこと。	
39	・業務アプリケーション(サービス)	・ギョウムアプリケーション(サービス)		アーキテクチャ	業務処理の実行のうち, 【サービスインターフェース】を提供する処理の実行に関する責務を担う【システム構成要素】のこと。	
40	・業務アプリケーション(バッチ)	・ギョウムアプリケーション(バッチ)		アーキテクチャ	業務処理の実行のうち, 次の①あるいは②のいずれかの処理の実行に関する責務を担う【システム構成要素】のこと。①予め定められた期間あるいは日時に処理の実行を開始するもの。②複数の【業務キー】に関する処理を, 一括して処理せざるをえないもの。	
41	・個別データベース	・コベツデータベース	業務データベース(旧名であり, 原則利用しない)	アーキテクチャ	複数の【サブシステム】で共有する必要のない, 個々の【サブシステム】の業務の遂行におけるデータを配置したデータベースのこと。	【サブシステム】固有の業務データの管理を責務に持つ【システム構成要素】を指す場合も, この用語を用いる。
42	・ビジネスルール管理	・ビジネスルールカンリ		アーキテクチャ	ビジネスルールを処理することができる【システム構成要素】のこと。	
43	・DBアクセス基盤サービス	・デーバークセスキパンサービス		アーキテクチャ	【共有データベース】へ【業務システム】がアクセスするための【サービス】のこと。	【共有データベース】にアクセスするためのサービスの提供を責務に持つ【システム構成要素】を指す場合も, この用語を用いる。
44	・共有データベース	・キョウユウデータベース		アーキテクチャ	最適化計画の刷新の方針(②システム構造の見直し)によりデータが集中化された全システム共有のデータベースのこと。	最適化計画の刷新の方針(②システム構造の見直し)によりデータが「集中化」された全システム共有のデータベースのこと。なお, 正式名称は「DBアクセス基盤データベース」であるが, 「共有データベース」という。システム全体で利用する共有データの管理を責務に持つ【システム構成要素】を指す場合も, この用語を用いる。
45	・外部システム連携	・ガイブシステムレンケイ		アーキテクチャ	【内部システム】が【外部システム】と連携する場合に, 両者の通信方式・連携メカニズムの相違を吸収する【システム構成要素】のこと。	
46	論理ノード	ロンリノード		アーキテクチャ	ソフトウェア及びデータベース, プログラムプロダクトを組み合わせて利用する際の最小構成要素のこと。	物理的に分割して配置すると, ソフトウェアとしての本来の利用目的を達することのできない最小の単位のこと。
47	ToBe対象システム	トウベータイショウシステム	刷新対象システム	システム	最適化計画に基づく刷新対象システム全体のこと。	【ToBeモデル】の対象である【内部システム】全てのこと。既存システムでは, 全体システム概念設計書第1章に示す40システムが対象である。なお, SY52業務用PCについては, 業務用PCに実装されているクライアントを対象とする。

# 用語集

#	用語	読み仮名	同義語	用語区分	定義	定義の補足情報
48	サブシステム	サブシステム		システム	【特許庁システム】全体を複数の分割して得られた各システムのこと。	「～システム」の呼称の関係性については別シート参照。  【内部システム】の概念設計のベースとして扱う。 1つの【サブシステム】には、1つ以上の【サービス】を持つ。  なお、既存システム開発で、設計段階で用いられることのある【サブシステム】(例:案件配付サブシステム等)は、機能要件を基にしたプログラム【設計・開発】の管理単位であり、この概念設計で定義する【サブシステム】とは異なることに注意する。  ※【サブシステム】の定義における「一定の観点」とは、行政サービス遂行における主要な書類を分析して作られた【AsIs概念データモデル】上で、【エンティティ】間の関係性が疎となる部分と、イベントリソースへの更新整合性を保つ必要がある範囲を考慮したものの。
49	個別システム	コベツシステム		システム	1つないし複数の【サブシステム】を同時期に開発する管理単位のこと。	「～システム」の呼称の関係性については別シート参照。 【AsIs個別システム】と【ToBe個別システム】とを含む【特許庁システム】の所定の【業務システム】の総称とする。
50	・AsIs個別システム	・アズイズコベツシステム		システム	個別業務システム概念設計書作成対象のシステムを含む既存システム単体又は類似するシステムのグループの総称とする。	「～システム」の呼称の関係性については別シート参照。 厳密に【AsIs個別システム】と【ToBe個別システム】とを使い分ける場合に用いる。
51	・ToBe個別システム	・トゥービーコベツシステム		システム	【サブシステム】間の依存関係を考慮し設計行為を分割するべきではないと判断される範囲に含まれる単一又は複数の【サブシステム】のこと。	「～システム」の呼称の関係性については別シート参照。 厳密に【AsIs個別システム】と【ToBe個別システム】とを使い分ける場合に用いる。
52	業務システム	ギョウムシステム		システム	汎用的な用語という扱いとする。	「～システム」として様々な呼称が多く定義されると、混乱を引き起こすおそれがあるため、【業務システム】は特定の範囲を示す定義を行わず、一般的に業務を実現するシステムの意として用いることとする。
53	内部システム	ナイブシステム		システム	【ToBeアーキテクチャ】に従って構成する【サブシステム】のこと。	段階的刷新により、【ToBe対象システム】は順次、【外部システム】から【内部システム】へ刷新される。
54	外部システム	ガイブシステム		システム	【内部システム】を除く【特許庁システム】及び特許庁業務に係る特許庁外のシステムのこと。	【ToBe対象システム】の刷新前の既存システムを含む。
55	データ統合	データウゴウ		データ	以下に列挙するデータ配置位置及びデータ構造の再構築のこと。 ・現状各【個別システム】のデータベースで重複保有しているデータを論理的に集約することで重複を排除すると共に業務上共有性の高いデータとそれ以外のデータの仕分け基準に基づき【特許庁システム】全体のデータ配置位置を再構築すること。 ・データ設計のセオリーである正規化と汎用化が適用された全体として柔軟性が高く資源効率性の高いデータ構造へ再構築すること。	
56	重複データ	チョウフクデータ		データ	複数の【エンティティ】で管理されている、同じ対象と内容を示しているデータのこと。	あるべきデータ構造は、【重複データ】が排除された状態を基本とするが、非機能要件や諸々の制約により【物理的なデータ重複】を許容する場合には、論理的に整合を保てる状態であれば【論理的なデータ重複排除】状態と言う。
57	・物理的なデータ重複	・ブツリテキナデータチョウフク		データ	同じ対象と内容を示しているデータを、複数の異なるテーブルで保有している状態のこと。	例えば、非機能要件の確保などが理由で、同じ対象と内容を示しているデータを、複数のテーブルで保有している状態を指す。

# 用語集

#	用語	読み仮名	同義語	用語区分	定義	定義の補足情報
58	・論理的なデータ重複	・ロンリテキナデータチョウフク		データ	【物理的なデータ重複】が生じているだけでなく、その重複データのそれぞれの整合性が保たれる仕組みが備わっておらず、同じ対象と内容を示すにもかかわらず、任意のタイミングにおいて実際の設定値にズレが生じうる状態のこと。	逆に、【論理的なデータ重複】が排除されている状態とは、【物理的なデータ重複】が生じているかどうかを問わず、同じ対象と内容を示しているデータについて、それらのデータ値の整合性が必要なタイミングで保たれている状態のことである。 例えば、挿入・更新・削除に伴うオリジナルデータとは別に、参照専用のレプリカデータを複数の【サブシステム】で保有している場合に、オリジナルデータの変更とレプリカデータの配信の統制が取れている状態が、【論理的なデータ重複】排除である。
59	共有データ	キョウユウデータ		データ	複数の【サブシステム】から参照・更新されるデータのこと。	基本的には長期にわたり管理されるものが該当するが、連携等の目的で一時的に共有されるデータも含まれる。 この定義上、【共通リソースデータ】、【事件データ】、【書類データ】、【個別連携一時データ】が対象となる。
60	・共通リソースデータ	・キョウツウリソースデータ		データ	特許庁全体で長期にわたり参照・更新される庁内共通のリソースを表すデータのこと。	【共通リソースデータ】を格納した【個別データベース】のことを、共通リソースデータベースと呼んでいたこともあったが、構造上区別する意味がないため、共通リソースデータベースという用語は用いないこととする。
61	・事件データ	・ジケンデータ		データ	行政サービスに関する業務を遂行する上で台帳的な位置付けとなり、長期にわたり参照・更新される事件を表すデータのこと。	【事件データ】は後続業務から参照・更新されるため、常に最新の状態で整合性を保ち管理する必要がある。また、事件について証跡を残すため履歴管理も必要である。 「出願事件」、「登録事件」、「審判事件」、「国際出願事件」などが【事件データ】に該当する。
62	・書類データ	・シヨルイデータ		データ	行政サービスに関する業務を遂行する上で、申請者との間、及び庁内で取り交わされる各種書類を表すデータのこと。	特許庁の業務は各書類の連携により遂行される(特許法施行規則第1条等に規定される書面主義)。「受付書類」、「庁内書類」、「発送書類」などが【書類データ】に該当する。
63	・個別連携一時データ	・コベツレンケイイチジデータ		データ	特定【サブシステム】間で一時的だが共有されるデータのこと。	【書類データ】と異なり不特定多数の後続業務から参照されることは無いが、DB上でのデータ連携を可能にするために【共有データ】として取扱う必要があり、例えばAサブシステムからBサブシステムに個別に受け渡す必要があるデータが【個別連携一時データ】に該当する。
64	個別データ	コベツデータ		データ	単一の【サブシステム】に閉じて使用されるデータのこと。	【共有データ】に比べ一過性が高い。 この定義上、【個別リソースデータ】、【個別業務イベントデータ】が対象となる。
65	・個別リソースデータ	・コベツリソースデータ		データ	単一【サブシステム】内に閉じて使用されるリソースデータのこと。	【共通リソースデータ】と異なり、複数の【サブシステム】から利用されないため、庁内全体で業務横断的に管理する必要はないが、【サブシステム】内独自の業務ルール等を表すため、長いライフサイクルでの管理が必要になる。例えば、【サブシステム】内の業務に閉じて使用される区分値等が【個別リソースデータ】に該当する。
66	・個別業務イベントデータ	・コベツキョウムイベントデータ		データ	単一【サブシステム】内に閉じて一時的に発生・使用されるイベントデータのこと。	【書類データ】と異なり後続の【サブシステム】では利用されないため、庁内全体で業務横断的に管理する必要はない。例えば、実体審査における、担当技術分野決定、検索外注、予備的見解書作成、進捗管理、審査止め、進捗伺い等に関するデータが【個別業務イベントデータ】に該当する。
67	エンティティ	エンティティ		データ	人や場所、物、出来事、またはビジネスや業務における概念など、共通の属性や特性を持つ、具体的または抽象的なものの集まりを表すものこと。	物理実装におけるテーブルとは、処理都合や非機能要件等の制約を加味しない点で大きく異なる。

# 用語集

#	用語	読み仮名	同義語	用語区分	定義	定義の補足情報
68	値ドメイン	アタイドメイン		データ	データ項目が持つ意味や性質、値の制約を規定したもののこと。	一般的にドメイン(定義域)は、データ項目の型や桁などの性質や取りうる値、範囲といった値制約の集合を指すが、これに加えてデータ項目が持つ業務やシステム上の意味を規定したものと考えて良い。 【値ドメイン】を使用して、特定のデータ項目に設定できる値を制限し、また、型・桁を統一するなど、データの整合性を維持するための手段として非常に有効である。
69	データ辞書	データジショ		データ	情報システムにおいてデータの一貫性や整合性を保つため、扱うデータの種類、名前、意味、属性(型)等を定めた、データベースや【文書】のこと。	
70	AsIs概念データモデル	アズイズガイネンデータモデル		データ	最適化計画【文書】内に示された「データ分析」の作業の一環として、2012～2014年度において、特許庁が現状の特許庁業務で受領・生成する情報を元に【作成】した、概念データモデルのこと。	
71	マスタ	マスタ	マスタデータ	データ	業務を遂行する際の基礎情報となるファイルや、データベースのテーブルのこと。	既存システムの【マスタ】として、出願マスタ、審判マスタ、登録マスタ、申請人登録マスタ といった名称がすでに存在するため、それら既存システムのものを目指す場合も、この用語を用いる。
72	基幹業務シナリオ	キカンギョウムシナリオ			複数の【個別システム】をまたがるような一連の業務(願書の受付から最終処分まで等)を総合試験するための業務シナリオのこと。	
73	ソフトウェア製品	ソフトウェアセイヒン	PP、プログラムプロダクト		既製品のソフトウェアプログラムのこと。	
74	アプリケーションプログラム	アプリケーションプログラム	AP		【ソフトウェア製品】を除く特定のシステム固有のソフトウェアプログラムのこと。	
75	特許庁業務・システム最適化計画(改定版)	トッキョウチョウギョウム・システムサイテキカケイカク(カイテイバン)	最適化計画		特段の説明がない場合は、平成25年3月に【改定】した特許庁業務・システム最適化計画のこととする。	
76	システム開発	システムカイハツ			ある特定のシステムを実現するための一連の【タスク】のこと。	
77	・要求仕様	・ヨウキュウシヨウ	要求定義		【システム開発】に関する【タスク】のうち、ある特定のシステムに対して誰が(WHO)何を(WHAT)したいのかを定義する一連の【タスク】のこと。	
78	・・業務要件作成	・・ギョウムヨウケンサクセイ			【システム刷新】及び【新規システム構築】を目的とした【要求仕様】のこと。	
79	・WFA(AsIs)作成	・ダブリューエフエー(アズイズ)サクセイ			【システム開発】に関する【タスク】のうち、既存システムにおける利用者とシステムとの関係を【ビジネスプロセス】として定義する一連の【タスク】のこと。	
80	・要件定義	・ヨウケンテイギ			【システム開発】に関する【タスク】のうち、ある特定のシステムに対して【要求仕様】結果をどのように(HOW)実現するのかを定義する一連の【タスク】のこと。	
81	・・開発前提条件整理	・・カイハツゼンテイジョウケンセイリ			【既存システム改造】を目的とした【要件定義】のこと。	
82	・設計・開発	・セツケイ・カイハツ			【システム開発】に関する【タスク】のうち、ある特定のシステムに対する【要件定義】結果を満たすようなシステムを実現するための一連の【タスク】のこと。ただし、【HW導入】を除く。	
83	・・改造	・・カイゾウ			既存システムに対する一部の【改造】を目的とした【設計・開発】のこと。	

## 用語集

#	用語	読み仮名	同義語	用語区分	定義	定義の補足情報
84	・・・保守	・・・ホシュ			機能維持、品質維持等、情報システムを設計された仕様どおりに動作させることを目的とした【改造】のこと。	
85	・・・機能改修	・・・キノウカイシュウ			既存システムに対する仕様を変更又は追加する【改造】のこと。	
86	・・・お付き合い改造	・・・オツキアイカイソウ			【個別プロジェクト】の代表的な【設計・開発】を除く【個別プロジェクト】の【システム開発】により必要となる【改造】のこと。ただし、【個別プロジェクト】の類型が【既存システム改造】の場合を除く。	
87	設備条件整理	セツビジョウケンセイリ			ある特定のシステムを実現するためのHWに関する条件を定義する一連の【タスク】のこと。	
88	HWライフサイクル	HWライフサイクル			ある特定のシステムのHWに関する契約開始から契約終了までの一連の【タスク】のことであって、【HW導入】、【HW保守】、HW撤去等を含むHWのライフサイクルのこと。	
89	・HW導入	・ハードウェアドニューウ			ある特定のシステムに対する【設備条件整理】結果を満たすようなシステムを実現するためのHWに関する一連の【タスク】のこと。	
90	・・更改	・・コウカイ			【システム刷新】及び【新規システム構築】の対象となるシステムに対する【HW導入】を除く【HW導入】のこと。	
91	・HW保守	・ハードウェアホシュ			機能維持、品質維持等、情報システムを設計された仕様どおりに動作させることを目的としたHWに関する【タスク】のこと。	
92	システム構築	システムコウチク			ある特定のシステムを実現すると共に当該システムを設計された仕様どおりに動作させることを目的とした一連の【タスク】のこと。	
93	運用	ウンヨウ			ある特定のシステムの仕様及び構成の変更を原則行わずに、当該システムの運転状態を維持することを目的とした行為及びこれに付随する行為のこと。	
94	教育・訓練	キョウイク・クンレン			情報システムの稼働に当たって、【原課】に所属する職員及び原課の関係者に対し、業務の実施が円滑に行えるように実施する教育・訓練のこと。	
95	業務運用支援	ギョウムウンヨウシエン			情報システムの稼働に当たって、原課に所属する職員が行う業務について支援を行う行為のこと。	
96	特許庁システム	トッキョウチョウシステム			特許庁情報技術統括室及びINPITにおいて管理している産業財産権に関する業務を行うためのシステムのこと。	
97	・特許事務システム	・トッキョウジムシステム			政府情報システム管理DBIにおいて【登録】されている【特許庁システム】のこと。ただし、ネットワーク機器を除く。	
98	成果物	セイカブツ			【個別プロジェクト】により【作成】される有体物のこと。	
99	工程	コウテイ	ワーク・パッケージ、ワーク・パッケージ・グループ		所定の【成果物】を求める作業期間のこと。	
100	主要マイルストーン	シュヨウマイルストーン			マイルストーンのうち、特に【個別プロジェクト】計画書において重要であるとして記載されているマイルストーンのこと。	
101	リリース日	リリースビ			あるシステム開発における移行作業が全て終了し、運用開始可能となった日のこと。	
102	サービス開始日	サービスカイシビ			あるシステム開発において、全ステークホルダーが当該システムを利用可能になる日のこと。	

# 用語集

#	用語	読み仮名	同義語	用語区分	定義	定義の補足情報
103	タスク	タスク			【工程】において【成果物】を【作成】するために行われる作業、確認、承認等の行為のこと。	
104	プロジェクト	プロジェクト			特段の説明がない場合は、【特許庁PMO】が関与する全ての一連の【タスク】のこととする。すなわち、【個別プロジェクト】化されない【更改】等も含まれる。	
105	・個別プロジェクト	・コベツプロジェクト			最適化計画に記載された【工程】及び最適化計画に記載されていないが【特許庁情報推進化本部】においてプロジェクト化が必要と判断された【システム開発】に関する【成果物】を生み出すために時間と資源をかけて行う一連の【タスク】のこと。詳細については、『特許庁業務・システム最適化計画に係る特許庁システム開発全体計画書』を参照のこと。	
106	・・類型	・・レイケイ	個別プロジェクトの類型		【個別プロジェクト】に含まれる代表的な【単位プロジェクト】の目的に応じて【個別プロジェクト】をパターン化したものこと。	
107	・・・システム刷新	・・・システムサッシン			【個別プロジェクト】に含まれる代表的な【単位プロジェクト】の目的が既存システムをアーキテクチャ標準仕様に準拠した形で完全に刷新することに該当するパターンのこと。	
108	・・・既存システム改造	・・・キゾンシステムカイゾウ			【個別プロジェクト】に含まれる代表的な【単位プロジェクト】の目的が既存システムの【改造】のみで対応することに該当するパターンのこと。	
109	・・・新規システム構築	・・・シンキシステムコウチク			【個別プロジェクト】に含まれる代表的な【単位プロジェクト】の目的が既存システムの存在しない新たなシステムを構築することに該当するパターンのこと。	
110	・・・システム刷新準備	・・・システムサッシンジュンビ			【個別プロジェクト】に含まれる代表的な【単位プロジェクト】の目的が【システム刷新】の【類型】に該当する個別プロジェクトのインプット情報として、業務及びシステムのAsIs把握、【ToBe】検討等の準備を行うことに該当するパターンのこと。	
111	・・個別プロジェクトチーム	・・コベツプロジェクトチーム			【個別プロジェクト】を実行するために組織される集団のこと。	
112	・・・プロジェクトメンバー	・・・プロジェクトメンバー	メンバー		【個別プロジェクトチーム】を組織するために適任であるとして抜擢された人材のこと。	
113	・・・プロジェクト責任者	・・・プロジェクトセキニンシャ			【個別プロジェクト】に対する管理責任、説明責任を負う責任者のこと。詳細については、『特許庁業務・システム最適化計画に係る特許庁システム開発全体計画書』を参照のこと。	
114	・・・プロジェクトマネージャ	・・・プロジェクトマネージャ			【プロジェクト責任者】を補佐すると共に【個別プロジェクト】の自己管理としてのプロジェクト管理を行う管理者のこと。詳細については、『特許庁業務・システム最適化計画に係る特許庁システム開発全体計画書』を参照のこと。	
115	・・・単位プロジェクト	・・・タンイプロジェクト			【個別プロジェクト】を複数のサブプロジェクトとして分けたもの。詳細については、『特許庁業務・システム最適化計画に係る特許庁システム開発全体計画書』を参照のこと。	
116	・・・単位プロジェクトチーム	・・・タンイプロジェクトチーム			【単位プロジェクト】を実行するために組織される集団のこと。	
117	・・・リーダー	・・・リーダー			【プロジェクトマネージャ】を補佐し【単位プロジェクト】の実施・遂行に責任を持つ監督者のこと。	

## 用語集

#	用語	読み仮名	同義語	用語区分	定義	定義の補足情報
118	特許庁情報化推進本部	トッキョウチョウジヨウホウカスイシンホンブ	推進本部		特許庁事務分掌規程の別表により制定された組織であって、特許庁の事務を効率的かつ効果的に実施するため情報システムの開発等を通じた特許庁の情報化の推進のための総合調整に関する事務をつかさどる組織のこと。詳細については、『特許庁業務・システム最適化計画に係る特許庁システム開発全体計画書』を参照のこと。	
119	・本部会合	・ホンブカイゴウ			特許庁事務分掌規程の細則(【特許庁情報化推進本部】組織細則)により制定された組織であって、情報化の推進に係る重要事項についての審議を行う組織のこと。詳細については、『特許庁業務・システム最適化計画に係る特許庁システム開発全体計画書』を参照のこと。	
120	・特許庁プログラム・マネージメント・オフィス	・トッキョウチョウプログラム・マネージメント・オフィス	特許庁PMO		特許庁事務分掌規程の細則(【特許庁情報化推進本部】組織細則)により制定された組織であって、【特許庁情報化推進本部】の事務局に該当し、【特許庁情報化推進本部】における事務を整理する組織のこと。詳細については、『特許庁業務・システム最適化計画に係る特許庁システム開発全体計画書』を参照のこと。	
121	・・特許庁PMO総括担当	・・トッキョウチョウピーエムオーソウカツタントウ	PMO総括担当		【特許庁PMO】業務の総合調整を実施する組織。詳細については、『特許庁業務・システム最適化計画に係る特許庁システム開発全体計画書』を参照のこと。	
122	・・特許庁PMO管理担当	・・トッキョウチョウピーエムオーカンリタントウ	PMO管理担当		プロジェクト全体の【全体進捗管理】と【個別プロジェクト】の支援を実施する組織。詳細については、『特許庁業務・システム最適化計画に係る特許庁システム開発全体計画書』を参照のこと。	
123	・・特許庁PMO技術担当	・・トッキョウチョウピーエムオーギジュツタントウ	PMO技術担当		技術標準等の整備とプロジェクト全体の【技術的整合性確保】を実施する組織。詳細については、『特許庁業務・システム最適化計画に係る特許庁システム開発全体計画書』を参照のこと。	
124	・本部ワーキンググループ	・ホンブワーキンググループ	本部WG		特許庁事務分掌規程の細則(【特許庁情報化推進本部】組織細則)により制定された組織であって、【特許庁PMO】の求めに応じて、情報化の推進に係る事項についての検討を行う組織のこと。詳細については、『特許庁業務・システム最適化計画に係る特許庁システム開発全体計画書』を参照のこと。	
125	特許庁総務部総務課情報技術統括室	トッキョウチョウソウムブソウムカジョウホウギジュツトウカツシツ	情報技術統括室		経済産業省組織規則により定められた組織であって、工業所有権に関する情報システムの整備及び管理に関する事務をつかさどる組織のこと。	
126	原課	ゲンカ			【特許庁システム】の【システム利用者】の代表として最適化計画に基づいた【システム開発】に関わる組織であって、【システム開発】のための【要求仕様】を行うと共にその他の【工程】の【成果物】について利用者の立場から確認する組織のこと。	
127	システム利用者	システムリヨウシャ			【特許庁システム】を利用するユーザのこと。ただし、【特許庁システム】の【運用】のためにシステムを利用する【システムインテグレーションベンダ】及び【オペレーションベンダ】を除く。	
128	設計・開発ベンダ	セツケイ・カイハツベンダ	APベンダ		【設計・開発】の請負契約に従い、【設計・開発】を実施する請負事業者のこと。	
129	・既存システムAPベンダ	・キゾンシステムエーピーベンダ			既存システムの【改造】の請負契約に従い、既存システムの【改造】を実施する請負事業者のこと。	
130	HW導入ベンダ	ハードウェアドニューベンダ	HWベンダ		【HW導入】の賃貸借契約に従い、HW導入ガイドラインを遵守して【HWライフサイクル】を実施する事業者のこと。	

# 用語集

#	用語	読み仮名	同義語	用語区分	定義	定義の補足情報
131	システムインテグレーションベンダ	システムインテグレーションベンダ	SI		システムインテグレーションサービスの請負契約に従い、【特許事務システム】に係るサービスレベル管理、アプリケーション開発・【改造】支援、インフラ導入支援、データベースコンテンツ管理、運用管理等のシステムインテグレーションサービスを提供する組織のこと。システムインテグレーションサービスの詳細については『サービスレベル合意書』を参照のこと。	
132	オペレーションベンダ	オペレーションベンダ	OP, オペ		オペレーションサービスの請負契約に従い、【特許事務システム】に係るオペレーション、エンドユーザサポート、等を行う組織のことであり、総合テスト【工程】における定常運用業務の引継ぎ先となる組織のこと。	
133	システム構築調達支援業者	システムコウチクチョウタツシエンギョウシャ			【システム構築】の請負契約に関する【調達手続】の支援を行う組織のこと。	
134	設計・開発調達支援業者	セツケイ・カイハツチョウタツシエンギョウシャ			【設計・開発】の請負契約に関する【調達手続】の支援を行う組織のこと。	
135	HW導入調達支援業者	ハードウェアドウニュウチョウタツシエンギョウシャ			【HWライフサイクル】の賃貸借契約に関する【調達手続】の支援を行う組織のこと。	
136	全体管理	ゼンタイカンリ	プログラム管理		【個別プロジェクト】全体に係る管理のこと。	
137	・全体進捗管理	・ゼンタイシンチョクカンリ	各プロジェクトの横断的な進捗管理		【全体管理】のうち、同時並行して実施される複数の【プロジェクト】の進捗状況やリスクを把握し進捗管理を行う機能のこと。	
138	・技術的整合性確保	・ギジュツテキセイゴウセイカクホ	技術的整合性の確保、技術的な全体整合性確保		【全体管理】のうち、同時並行して実施される複数の【プロジェクト】の技術的整合性を確保する機能のこと。	
139	調達	チョウタツ			汎用的な用語という扱いとする。	
140	・政府調達	・セイフチョウタツ			政府の行う物品やサービス等の調達のこと。	
141	・・分割調達	・・ブンカツチョウタツ			ある特定の【システム開発】について【政府調達】を行うにあたり、当該【システム開発】の一連の【タスク】を分割して別の契約として【政府調達】をすること。	
142	・・・調達単位	・・・チョウタツタンイ			【分割調達】する際の一連の【タスク】の分割単位のこと。	
143	・・調達手続	・・チョウタツテツツキ			一般競争入札に基づく【調達仕様書】【作成】から契約締結までの【タスク】のこと。	
144	・・調達仕様書	・・チョウタツシヨウショ			一般競争契約のうち調達する物品やサービスに応じた契約内容を記載した仕様書のこと。	
145	・・・調達要件	・・・チョウタツヨウケン			【調達仕様書】に記載された受注者の義務のこと。	
146	プロセス	プロセス			汎用的な用語という扱いとする。	
147	フェーズ	フェーズ			【個別プロジェクト】の代表的な【設計・開発】に関する【単位プロジェクト】を実行するための請負契約を基準に【個別プロジェクト】を時間軸で分割した期間のこと。	
148	・企画段階	・キカクダンカイ			請負契約を行うための予算要求及び予算執行並びにこれらの準備作業の【フェーズ】のこと。	
149	・調達段階	・チョウタツダンカイ			請負契約を行うための【調達手続】の【フェーズ】のこと。	

# 用語集

#	用語	読み仮名	同義語	用語区分	定義	定義の補足情報
150	・開発段階	・カイハツダンカイ			請負契約を行った後の【設計・開発】の【フェーズ】のこと。	
151	特許庁PMO標準・規約類	トッキョウチョウピーエムオー ヒョウジュン・キヤクルイ			最適化計画の推進に必要な標準・規約類のうち、【特許庁PMO】が整備及び管理する標準・規約類のこと。	
152	標準・規約類体系	ヒョウジュン・キヤクルイタイ ケイ			【特許庁PMO標準・規約類】を整備するために最上位【文書】を頂点に位置付けた階層構造のフレームワークのこと。詳細については、『特許庁PMO標準・規約類における整備及び管理方針』を参照のこと。	
153	識別記号	シキベツキゴウ			【作成】した【特許庁PMO標準・規約類】の【標準・規約類体系】に対する位置付けを明示するための記号のこと。詳細については、『特許庁PMO標準・規約類における整備及び管理ガイドライン』を参照のこと。	
154	版数	ハンスウ			同じ識別番号の【特許庁PMO標準・規約類】の新旧を区別可能とするために用いる記号であって、2つの整数と当該整数に挟まれたドットから構成される記号のこと。詳細については、『特許庁PMO標準・規約類における整備及び管理ガイドライン』を参照のこと。	
155	作成	サクセイ			【新規作成】及び【改定】を含む総称とする。	
156	・新規作成	・シンキサクセイ			ある特定の【識別記号】の【特許庁PMO標準・規約類】が【保存】されていない状態において、当該識別記号に該当する【特許庁PMO標準・規約類】を【作成】又は取得すること。すなわち、版数1.0以下の行政文書を【作成】又は取得すること。	
157	・改定	・カイトイ			ある特定の【識別記号】の【特許庁PMO標準・規約類】が【保存】されている状態において、当該識別記号に該当する【特許庁PMO標準・規約類】を【作成】又は取得すること。すなわち、版数1.0よりも大きい行政文書を【作成】又は取得すること。	
158	文書	ブンショ			特許庁職員が職務上【作成】又は取得した電子データのことであって、単独のファイルに限らず、所定のフォルダ(ディレクトリ)構造に含まれる複数のファイルの集合体をも含む総称とする。	
159	・種類	・シュルイ	文書の種類		特許庁職員が職務上必要とする【文書】を、その職務の種類毎に分類したもののこと。	
160	・最新版	・サイシンバン	【文書の最新版】		現時点で職務上有効となっている【文書】のこと。詳細については、『特許庁PMO標準・規約類における整備及び管理ガイドライン』の「3.1.3 版数」を参照のこと。	
161	・旧版	・キウハン	文書の旧版			
162	・属性	・ゾクセイ	文書の属性		職務を遂行するにあたっての【文書】の位置づけ(行政文書、個人文書、正本、副本、暫定版、将来正式に発効等)のこと。ただし、上記【文書の最新版】、【文書の旧版】を除く。	
163	登録	トウロク			【文書】を【保存場所】に置くこと。	
164	払い出し	ハライダシ			【文書】を【保存場所】から取り出すこと。	
165	保存	ホゾン			【文書】が【保存場所】に置かれた状態のこと。	
166	保存場所	ホゾンバシヨ			【文書】の置き場のこと。	
167	破棄	ハキ			【文書】を【保存場所】から取り出して削除すること。	
168	参照	サンシヨウ			【文書】を【保存場所】に置いたまま照会すること。	
169	環境変化	カンキョウヘンカ			政策事項の情勢や技術の変遷等といった、特許庁システムを取り巻く環境で影響を与えうるような変化のこと	
170	BPMN	ビーピーエムエヌ		BPM	ビジネスプロセスモデリング表記法(Business Process Model & Notation)のこと。	

# 用語集

#	用語	読み仮名	同義語	用語区分	定義	定義の補足情報
171	BPMN要素	ビービーエムエヌヨウソ		BPM	【BPMN】で使用する図形のこと。	
172	ビジネスプロセス	ビジネスプロセス		BPM	業務の一連の流れを【BPMN】で表現したもの。	
173	ビジネスプロセス識別子	ビジネスプロセスシキベツシ		BPM	【ビジネスプロセス】を識別するのに使用する値のこと。	
174	ビジネスプロセス定義	ビジネスプロセステイギ		BPM	【ビジネスプロセス】の定義情報のこと。	
175	ビジネスプロセスインスタンス	ビジネスプロセスインスタンス		BPM	【ビジネスプロセス定義】に基づき作成される実体のこと。	【ビジネスプロセスインスタンス】は【ビジネスプロセス識別子】と【業務キー】の組合せで識別する。
176	シーケンスフロー	シーケンスフロー		BPM	【フローノード】の順序を矢印によって表す【BPMN要素】のこと。	
177	フローノード	フローノード		BPM	【アクティビティ】、【イベント】、【ゲートウェイ】の総称で、【シーケンスフロー】に接続可能な【BPMN要素】のこと。	
178	フローノード識別子	フローノードシキベツシ		BPM	【フローノード】を識別するのに使用する値のこと。	
179	フローノードインスタンス	フローノードインスタンス		BPM	【ビジネスプロセスインスタンス】が保持する【フローノード】の実体のこと。	【フローノードインスタンス】は【ビジネスプロセス識別子】、【業務キー】及び【フローノード識別子】の組合せで識別する。
180	アクティビティ	アクティビティ		BPM	【フローノード】の一種で、ひとまとまりの作業を表す【BPMN要素】のこと。	【ユーザタスク】、【サービスタスク】等の総称。
181	サービスタスク	サービスタスク		BPM	人の介入なしに自動で実行する【アクティビティ】のこと。	
182	ユーザタスク	ユーザタスク	ユーザー・タスク	BPM	BPMN要素の一つで、人が介入して実行する業務処理を表す図形のこと。	
183	イベント	イベント		BPM	【フローノード】の一種で、【ビジネスプロセス】の開始や終了等の契機を表す【BPMN要素】のこと。	
184	ゲートウェイ	ゲートウェイ		BPM	【フローノード】の一種で、【ビジネスプロセス】の合流や分岐を表す【BPMN要素】のこと。	
185	ビジネスフロー管理データ	ビジネスフローカンリデータ		BPM	【ビジネスプロセスインスタンス】の属性値のこと。	【特許庁システム】で【ビジネスフロー管理データ】に設定可能な情報は、【業務キー】又は【ビジネスプロセス】の分岐条件を判定するために必要なデータのみ。
186	タスク位置	タスクイチ		BPM	実行開始可能又は実行中の状態にある【フローノードインスタンス】のこと。	
187	ロック	ロック		BPM	【ユーザタスク】が実行中の状態のこと。	
188	REST	レスト		アーキテクチャ	HTTPリクエストに対してXMLレスポンスを返却する実装方式のこと。	【特許庁システム】では、レスポンスをXMLに限定する。

# 用語集

#	用語	読み仮名	同義語	用語区分	定義	定義の補足情報
189	サービスインタフェース名	サービスインタフェースメイ		アーキテクチャ	【サービスインタフェース】を識別するのに使用する名前のこと。	
190	利用者識別情報	リヨウシャシキベツジョウホウ		アーキテクチャ	システム利用者(利用元)を識別するのに使用する情報のこと。	例えば、職員コード。
191	業務キー	ギョウムキー		アーキテクチャ	【ビジネスプロセスインスタンス】の業務的な対象を識別するのに使用するキー情報のこと。 特許庁の業務において、業務の対象を特定するために利用されている番号のこと。アーキテクチャ標準仕様書では、共有DB・個別DBの主キーとして利用されている番号と対応する想定である。	例えば、受付番号や出願番号等。 例：四法コードと出願番号の組み合わせ、審判番号、登録番号、申請人識別番号、予納台帳番号 etc
192	業務キー区分	ギョウムキークブン		アーキテクチャ	【業務キー】を系統立てた際の仕切りのこと。	
193	業務キー区分名	ギョウムキークブンメイ		アーキテクチャ	【業務キー区分】を識別するのに使用する名前のこと。	
194	事件データ種別	ジケンデータシュベツ		アーキテクチャ	【事件データ】を【業務キー区分】より細分化した際の仕切りのこと。	
195	事件データ種別名	ジケンデータシュベツメイ		アーキテクチャ	【事件データ種別】を識別するのに使用する名前のこと。	
196	書類データ種別	シヨルイデータシュベツ		アーキテクチャ	【書類データ】を細分化した際の仕切りのこと。	申請書類、発送書類、庁内書類のいずれか。
197	書類データ種別名	シヨルイデータシュベツメイ		アーキテクチャ	【書類データ種別】を識別するのに使用する名前のこと。	
198	論理対象ノード	ロンライタイショウノード		アーキテクチャ	【事件データ】または【書類データ】の論理的な所在を識別するのに使用する名前のこと。	
199	付随情報	フズイジョウホウ		アーキテクチャ	【書類データ】に含まれていない、書類のやり取りに必要なデータのこと。	
200	サブシステム識別子	サブシステムシキベツシ		アーキテクチャ	【サブシステム】を識別するのに使用する値のこと。	
201	分岐条件情報	ブンキジョウケンジョウホウ		アーキテクチャ	【ビジネスプロセス】における、分岐の判定に使用する情報のこと。	
202	伝達情報	デンタツジョウホウ		アーキテクチャ	【個別連携一時データ】における伝達対象のこと。	
203	伝達情報種別	デンタツジョウホウシュベツ		アーキテクチャ	【伝達情報】の種別を識別するのに使用する名前のこと。	